

取扱説明書（操作編）

VoIP 対応 IP電話機

VoiceCaster [IP-24N-ST101A]

「お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。」

この電話機の取り扱いに際して、電話交換システムやIPネットワークに関する知識を必要とすることがありますので、必ず販売店もしくは通信システム及びネットワーク管理者の指示に従ってください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この『取扱説明書』には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく可能性のある内容を示しています。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお申しつけください。
- この通信システムは、日本国内用に設計されております。海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は停電や電源の瞬停などに対する保護手段を有しておりません。システムを安定に動作させるためには、本製品やHUB等の中継装置に対して無停電電源装置を使用する必要があります。
- 文中の会社名・商品名については、各社の登録商標または商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

株式会社ナカヨ通信機



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となる場合があります。すぐに給電用のLANケーブルや電源ケーブルを抜いて、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから修理を依頼してください。
- 電話機から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに給電用のLANケーブルや電源ケーブルを抜き、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- 給電用のLANケーブルや電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また重いものを載せたり、加熱したりするとケーブルが破損し、火災・感電・故障の原因となることがあります。ケーブルが傷んだら修理を依頼してください。
- 指定された電源(給電HUB:DC約48V／ACアダプタ:AC100Vの商用電源)以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となることがあります。(ACアダプタ使用時)
- 電源(ACアダプタ)はコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグやコンセントにほこりや金属物が付着していないことを確認してから差し込んでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。(ACアダプタ使用時)
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。(ACアダプタ使用時)
- 電話機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。また電話機の表面に水滴がついた場合は、一旦、電源を切った後、乾いた布等でふき取ってください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところには設置しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電話機の上や横に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、また小さな金属類を置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電話機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、電話機の内部に異物や水が入った場合、すぐに給電用のLANケーブルや電源ケーブルを抜いて修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 近くで雷が発生したときは、電話機の使用をお控えください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電話機のケースを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電・故障の原因となることがあります。また内部の点検、調整、清掃、修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご依頼ください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電話機の上に乗ったり、重たいものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけが・破損・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけが・破損・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落下してけが・破損・故障の原因となることがあります。
- 電話機のスタンドは、ロックする位置で固定してください。倒れてけが・故障の原因となることがあります。
- 万一、電話機を落したり、ケースを破損した場合は、すぐに給電用のLANケーブルや電源ケーブルを抜いて修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 電源を抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電・故障の原因となります。(ACアダプタ使用時)
- 直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラー・エアコンの吹出口など著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。
- 電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 電話機の通風孔にほこりがたまった場合、給電用のLANケーブルや電源ケーブルを抜いて電話機の電源を切った後、乾いた布などで取り除いてください。内部に熱がこもり火災・故障の原因となることがあります。
- 電話機やケーブルを熱器具に近づけないでください。電話機やケーブルが溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電話機を次のように使わないでください。火災・故障の原因となることがあります。
 - ・横倒しや逆さまにする。
 - ・収納棚や本棚、引出しの中、タンスの中、押入の中など、風通しの悪いところに入れる。
 - ・じゅうたんや布団の上におく。テーブルクロスなどをかける。
- 電話機を長期間使用されないときは、安全のためLANケーブルや電源ケーブルを抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機を移動したり、お手入れする場合、LANケーブルや電源ケーブルなどを外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 壁掛け使用時には落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 壁掛け用に取付ける場合は電話機の重みにより落下しないよう堅固に取付け・設置してください。けがの原因となることがあります。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく可能性のある内容を示しています。

- 机、椅子、ロッカーなどでケーブル類を踏んだり、挟んだりしないよう注意してください。電話機が使えなくなるなど、障害の原因となります。特に床上の配線などは、プロテクタ等で保護してください。
- この電話機に接続する給電HUB(別途調達品)やACアダプタ(オプション)の電源は、モーター・エアコン・消費電力の大きい機器等、ノイズの発生する機器が接続される電源系統を別にしてください。
- 電話機を落したり、強い衝撃を与えないでください。破損・故障・誤動作の原因となることがあります。
- 電話機を次のような場所に設置することは避けてください。故障・誤動作の原因となることがあります。
 - ・ちり、ほこり、金属粉、有毒ガスなどが発生する場所、製氷倉庫など著しく温度が下がる場所
 - ・テレビ、ラジオ、電気こたつ、アンプ、スピーカボックス、電子レンジ、電気カーペットの上、家電製品のそば
 - ・水や薬品などがかかるおそれのある場所
- 電話機をベンジン、シンナー、アルコール、石油類、熱湯などで、拭かないでください。変色や故障の原因となります。布等から拭きしてください。

1. 本書の読み方	4
2. 各部の名称とはたらき	5
3. 電話機の使い方	10
3.1 内線に電話をかける	10
3.1.1 送受器をあげてかける（オフフック内線発信）	10
3.1.2 送受器をおろしたままかける（オンフック内線発信）	11
3.2 外線に電話をかける	12
3.2.1 ラインキーを使用しないで外線に電話をかける	12
3.2.2 ラインキーを使用して外線に電話をかける	16
3.3 その他の電話のかけ方	20
3.3.1 ダイヤルの内容を確認してからかける（プリセットダイヤル）	20
3.3.2 直前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル）	22
3.3.3 発信履歴／着信履歴を検索してかける（履歴ダイヤル）	23
3.3.4 電話帳内容を検索してかける（短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル）	25
3.3.5 ワンタッチダイヤルでかける（ワンタッチダイヤル）	28
3.3.6 発信者番号の通知／非通知を指定してかける（発信者番号通知／非通知選択）	31
3.3.7 GWを直接指定してかける（GW直接発信）	32
3.3.8 送受器をあげるだけで特定の相手先に発信する（ホットライン）	33
3.4 着信に応答する	34
3.4.1 着信を自動的に選択して応答する（オフフック着信応答）	34
3.4.2 着信(回線)を指定して応答する（プリセクション）	35
3.5 通話を保留する、転送する	36
3.5.1 通話を一時保留する	36
3.5.2 別の相手と呼出して通話を転送する	38
3.5.3 パーク保留する、パーク保留を解除する	40
3.6 便利な機能	42
3.6.1 音量を調整する	42
3.6.2 通話中にプッシュ信号を送出する	43
3.6.3 送受器をもたずに通話する（ハンズフリー通話）	44
3.6.4 盗聴防止モードで通話する	45
3.6.5 発信者情報の表示	46
3.6.6 切断時の理由表示	47
3.6.7 不在設定	48
3.6.8 ヘッドセットを使用する	49
3.6.9 ASPサーバを使用して文字情報を表示する	52
3.6.10 ワンタッチサービス特番	54
3.7 メモリ登録	56
3.7.1 電話帳の登録	56
4. 付録	63
4.1 ダイヤルボタンで文字を入力する	63

1. 本書の読み方

本書は、本製品の使い方(電話のかけ方や受け方など)について説明するものです。

本書で使用している記号や表記は、次の通りとなっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

●表記について

表記の例	内容
着信	ランプ(LED)の名称を示します。
[転送]	操作するボタンの名称を示します。 ([]→[]及び[][]は、左から順に押すことを示します。)
(注1)	他の方法や注意を要する事項がありますので、該当する説明をお読みください。

●用語／機能について

語句	内容
SIPサーバ	SIPプロトコルをサポートした通信制御装置で、従来の交換機(ボタン電話主装置)相当の交換制御や音声処理を行います。
GW (ゲートウェイ)	加入電話網(アナログ回線・ISDN回線)をIP電話機に接続するためのインタフェース装置です。本システムのGW装置は、ユーザ拠点に設置されます。
パーク保留機能	SIPサーバ側で通話を保留し、そのグループに属する電話機から応答(保留を解除)することができます。
不在設定機能	離席や外出など電話に出られない場合、本機能を有効にすることで、着信を受付けないようにすることができます。
盗聴防止通話機能	相手の電話機に対して送受信されるIPパケット(音声情報)を暗号化することで、通話内容を盗聴されにくくすることができます。 本機能の利用は内線及びVPNで接続される本製品相互で、かつプログラマブルキーに[盗聴防止]ボタンを割付ける必要があります。 また、接続するサーバによっては本機能が使えないことがありますので、通信システムの管理者や工事者に確認してください。

●データ設定について

本製品を運用開始する場合や機能設定を変更する場合は、電話機毎に必要なデータを設定、変更する必要があります。

また本書では、標準的な運用を想定したデータ設定がなされているものとして説明しています。システムによっては、本書の説明と異なることがありますので、通信システムの管理者や工事者に確認してください。

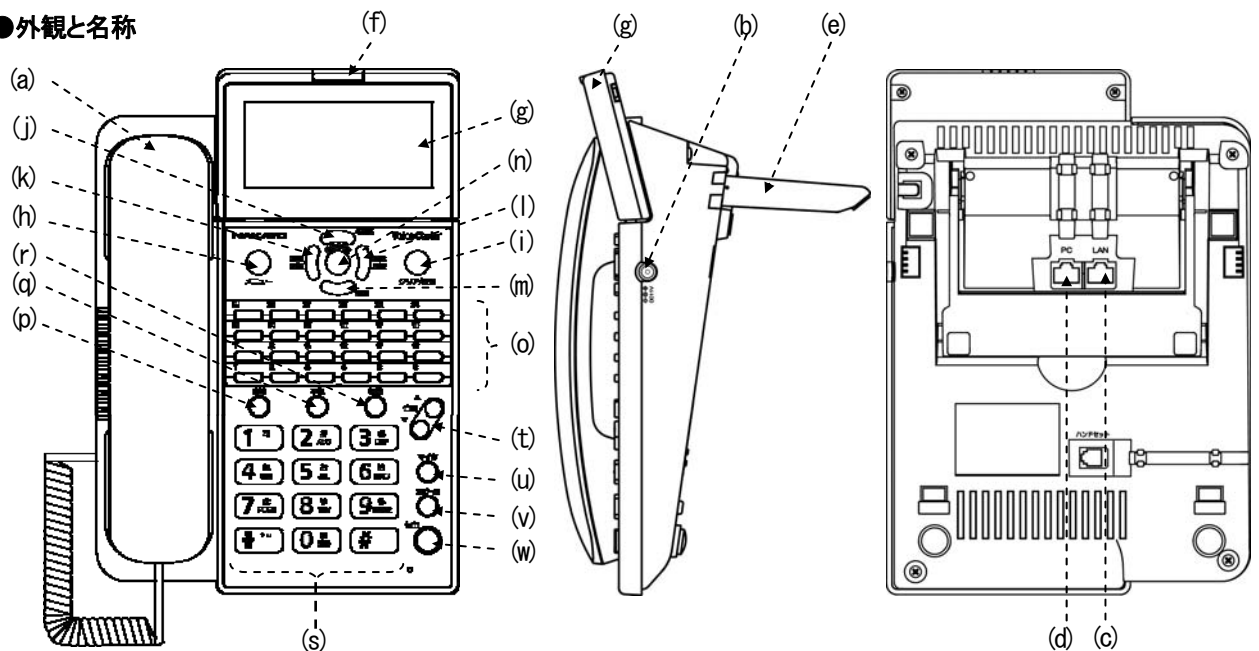
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

データを誤って設定すると、本製品の機能が制限されたり、通話ができなくなる等の不都合を生じることがあります。データの設定や変更は、通信システムの保守者や工事者に依頼するか、指示を受けて実施してください。

2. 各部の名称とはたらき

●外観と名称



- (a) 送受器(ハンドセット): 相手とお話するときや、発信/終話の操作に使用します。
- (b) 電源コネクタ(DCジャック): オプションのACアダプタを接続します。
- (c) LANポートコネクタ: ネットワークと接続します。(10/100BASE)
- (d) PCポートコネクタ: 必要に応じてパソコン(PC)等のクライアント機器を接続します。(10/100BASE)
- (e) スタンド: 設置時に電話機の傾きを調整します。(スタンドは、一旦手前に引いてから動かしてください。)
- (f) **着信**ランプ: 着信状態や不在状態を表示します。
- (g) 表示器(LCD): 電話機の状態やダイヤル番号などを表示します。(全角10桁、半角20桁×4行)
 - 操作時にバックライトが点灯し、操作終了後約20秒経過すると消灯します。(初期値)
 - 表示部の角度を調節できます。
- (h) [メニュー]ボタン: データ設定に使用します。また、文字入力時のモード切替え(漢、仮、英、数、カナ、エイ、スラ)に使用します。
- (i) [クリア/戻る]ボタン: 前の操作に戻るときや入力内容を消去するときに使用します。
- (j) [電話帳]ボタン: 電話帳による発信、電話帳の登録(200件)や検索などに使用します。
- (k) [着信履歴]ボタン: 着信履歴(20件)の読出しや発信、表示の切替に使用します。
- (l) [発信履歴]ボタン: リダイヤル、発信履歴(20件)の読出しや発信、表示の切替に使用します。
- (m) [短縮]ボタン: 短縮ダイヤル(電話帳)による発信、電話帳の登録や検索、表示の切替などに使用します。
- (n) [設定/決定]ボタン: 各種データ設定やメモリ登録時の入力内容を決定するときに使用します。
- (o) プログラマブルキー: 代表着信/ワンタッチダイヤル/パーク保留/盗聴防止/ラインキーなど、サービスの起動や状態表示に使用します。(任意の位置に割付けすることができます。またLED(緑/赤)により状態を表示します。)
- (p) [内線]ボタン: 内線発信の指定や内線着信の表示に使用します。
- (q) [不在]ボタン: 不在機能の設定や解除に使用します。
- (r) [転送]ボタン: 通話の転送に使用します。
- (s) [0]~[9][*][#](ダイヤル)ボタン: 電話をかけるときや、データ設定(電話帳の文字入力を含む)に使用します。
- (t) [▲][▼](音量)ボタン: 受話音量/スピーカ音量/着信音量の調整に使用します。[▲]大きくする:[▼]小さくする)
- (u) [マイク]ボタン: ハンズフリー通話に使用します。
- (v) [スピーカ]ボタン: スピーカで通話を聞いたり、発信/終話の操作に使用します。
- (w) [保留]ボタン: 通話を保留するときに使用します。

●プログラマブルキーへの割付機能 (注1)

- ・[ワンタッチダイヤル]: 電話帳と連携してワンタッチダイヤル発信を行います。
- ・[外線ダイヤルイン着信]: 外線からのダイヤルイン着信を表示します。
- ・[代表着信]: 外線/内線の代表グループへの着信を表示します。
- ・[パーク保留]: パーク保留の起動、状態表示、保留解除を行います。
- ・[盗聴防止]: 盗聴防止通話の開始/中止を行います。
- ・[外線発信]: 外線発信を行います。
- ・[ヘッドセット使用]: ハンドセット(通常モード)とヘッドセットモードを切り替えます。
- ・[ラインキー]: ラインキー発信、ラインキー着信を行います。
- ・[ワンタッチサービス特番]: サーバに登録されたサービスの開始/アクセス/停止を行います。

注1: [ワンタッチダイヤル]、[代表着信]、異なるグループの[パーク保留]、[ラインキー]は複数割付けすることができます。

2. 各部の名称とはたらき

●ランプ表示の例

表示パターン	周 期	[単位:秒]
消灯	OFF	
点灯	ON OFF	
点滅 (I-USE)	ON 0.125 1.625 OFF 0.125 0.125	
点滅 (I-HOLD)	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 0.625	
点滅 (60INT)	ON 0.5 0.5 OFF 0.5 0.5	
点滅 (120INT)	ON 0.25 0.25 OFF 0.25 0.25	
点滅 (240INT)	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 0.125	

2. 各部の名称とはたらき

●ランプ表示と電話機状態

ランプ 名称 (注1)	電話機状態	表示色	表示パターン
着信	着信呼出中	赤	点滅(240INT)
	不在設定状態	赤	点灯
代表着信	代表着信あり	赤	点滅(240INT)
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)
外線ダイヤルイン着信	着信呼出中	赤	点滅(240INT)
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)
内線	着信呼出中	赤	点滅(240INT)
	発信または通話中	赤	点滅(1-USE)
外線発信	発信または通話中	緑	点滅(1-USE)
パーク保留	他電話機による保留中	赤	点滅(60INT)
	自電話機による保留中	緑	点滅(1-HOLD)
	自電話機での保留警報	緑	点滅(240INT)
マイク	ハンズフリーモード	赤	点灯
スピーカ	スピーカ受話状態	赤	点灯
盗聴防止	盗聴防止モード(起動側)	緑	点灯
	盗聴防止モード(被起動側)	緑	点滅(60INT)
ヘッドセット使用	ヘッドセットモード起動中	赤(注2)	点灯
ラインキー	他電話機による通話中	赤	点灯
	他電話機による保留中	赤	点滅(60INT)
	ラインキー着信中	赤	点滅(240INT)
	ワンタッチサービス起動中	緑	点灯
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)
	自電話機による保留中	緑	点滅(1-HOLD)
	自電話機での保留警報	緑	点滅(240INT)
ワンタッチサービス特番	サービス起動中	赤	点灯
	サービスアクセス中	緑	点滅(1-USE)
情報表示	ASPサーバ接続待ち	赤	点灯
	ASPサーバ接続待ち 一文字情報有り	赤	点滅(120INT)
	ASPサーバ接続中	緑	点灯

注1: 着信、内線、マイク、スピーカ、情報表示以外のランプは、プログラマブルキーとしての機能割付が必要です。

注2: データ設定の「自動応答機能」が「自動応答する」の場合は、緑点灯になります。(初期値: 自動応答しない)

2. 各部の名称とはたらき

●トーン表示の例 (1/2)

トーン種別	周 期 [単位:秒]
内線発信音 (SDT) [400Hz]	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 0.125
外線発信音 (DT) [400Hz]	ON (連続) OFF
ウェイトング トーン(WT) [400Hz]	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 1.625
呼出音 (RBT) [400Hz/8Hz]	ON 1.000 OFF 2.000
話中音 (BT) [400Hz]	ON 0.5 0.5 OFF 0.5 0.5
ハウラ音 (HOW) [2800Hz]	ON (連続) OFF
キー押下確認音 [1000Hz]	ON 0.05 OFF
自動応答音 [500Hz]	ON 0.250 0.250 OFF 0.250
ボリューム 確認音 [666Hz/8Hz]	ON 0.250 OFF
外線着信音 (IR) A:[666Hz/8Hz] B:[500Hz/16Hz] C:[800Hz/8Hz] D:[587Hz/8Hz] E:[743Hz/8Hz] F:[743Hz/16Hz] G:[825Hz/20Hz] H:[880Hz/16Hz]	ON 1.000 OFF 2.000
内線着信音 (SIR) A:[1000Hz/16Hz] B:[800Hz/64Hz] C:[1000Hz/128Hz] D:[666Hz/64Hz] E:[500Hz/64Hz] F:[587Hz/8Hz] G:[743Hz/8Hz] H:[880Hz/16Hz]	ON 0.250 0.250 OFF 0.250 2.250

2. 各部の名称とはたらき

● トーン表示の例 (2/2)

トーン種別	周 期	[単位:秒]
保留音 (注1) (メロディ)	ON (連続) OFF	
保留警報音 (注1) [666Hz/8Hz] (注2)	ON 0.125 0.125 0.125 0.125 OFF 0.125 0.125 0.125 1.125	
ASPアラームA [1000Hz]	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 1.625	
ASPアラームB [2000Hz]	ON 0.125 0.125 OFF 0.125 1.625	

注1: 保留音及び保留警報音は、本製品から送出した場合を示します。

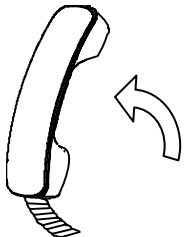
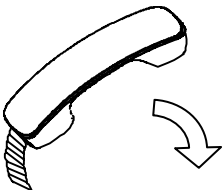
注2: RTP保留の場合は、666Hzとなります。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）

3.1 内線に電話をかける

内線発信にはいくつかの方法がありますので、使いやすい方法を選んでください。

3.1.1 送受器をあげてかける（オフフック内線発信）

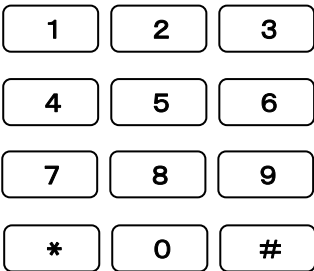
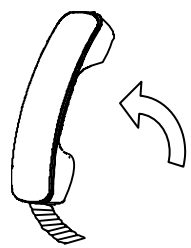
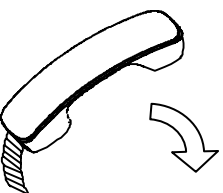
	手順1: 送受器をあげます。 ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。(注2) (例)内線番号＝2000の場合 ダイヤル？ 2000 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。
	手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 2000 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定(回線捕捉選択)によっては外線発信となることがあります。この場合、外線発信音を聴いている状態から**内線**ボタンを押してください。

注2: 「内線(個別)呼出」と「内線代表(一斉)呼出」は、電話番号によって指定されます。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）

3.1.2 送受器をおろしたままかける（オンフック内線発信）

スピーカ 	手順1: [スピーカ]ボタンを押します。 ・スピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。(注2) (例)内線番号=2000の場合 ダイヤル？ 2000 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、もう一度[スピーカ]を押します。
	手順4: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 2000 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (「59' 59」を越えると「00' 00」から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定(回線捕捉選択)によっては外線発信となることがあります。この場合、外線発信音を聴いている状態から[内線]ボタンを押してください。

注2: 「内線(個別)呼出」と「内線代表(一斉)呼出」は、電話番号によって指定されます。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

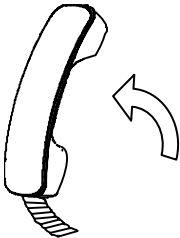
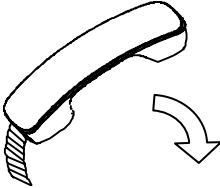
3.2 外線に電話をかける

外線発信にはいくつかの方法がありますので、使いやすいかけ方を選んでください。

3.2.1 ラインキーを使用しないで外線に電話をかける

3.2.1.1 送受器をあげてかける（オフフック外線発信）

●外線発信特番を使う

	手順1: 送受器をあげます。 ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル?」の文字が表示されます。 ダイヤル?
0 外線発信特番	手順2: 次にダイヤルボタンを用いて外線発信特番を入力します。 (例)外線発信特番=0の場合は[0]をダイヤルします。 ・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、外線発信ランプが点滅(I-USE)します。(注2)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #	手順3: 次にダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3) (例)電話番号=05001234567の場合 ダイヤル? 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。
	手順5: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 005001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 ・("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

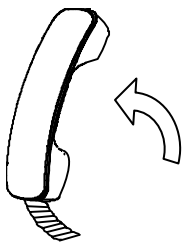
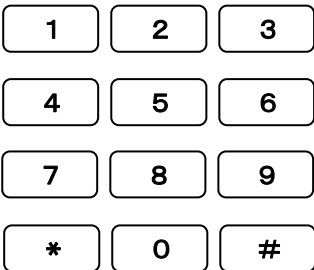
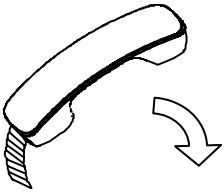
注1: データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注2: プログラマブルキーに[外線発信]ボタンが割付けられている場合に点灯します。

注3: 入力したダイヤルの先頭が"0"及び"1"以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

●[外線発信]ボタンを使う

	手順1: 送受器をあげます。(注1) ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
外線発信 	手順2: 次に、[外線発信]ボタンを押します。 ・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、外線発信ランプが点滅(I-USE)します。
	手順3: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	手順5: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 005001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 ・("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注2: 入力したダイヤルの先頭が"0"及び"1"以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

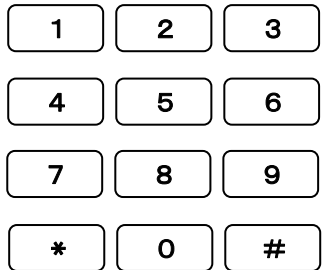
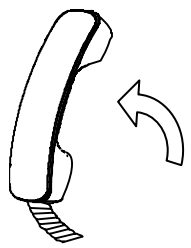
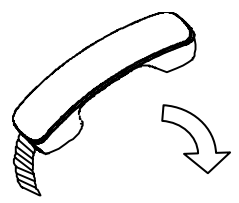
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.1.2 送受器をおろしたままかける（オンフック外線発信）

●[スピーカ]ボタン押下後に [外線発信]ボタンまたは外線発信特番を使う

 スピーカ	手順1:[スピーカ]ボタンを押します。(注1) ・スピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
 外線発信 0 外線発信特番	手順2: 次に、[外線発信]ボタンまたは外線発信特番(例:[0])を入力します。 ・スピーカからの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、外線発信ランプが点滅(I-USE)します。(注2)
	手順3: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3) (例)電話番号=05001234567の場合 ダイヤル？ 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順5: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 ・("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

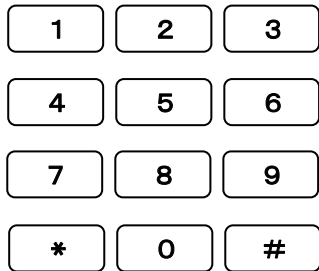
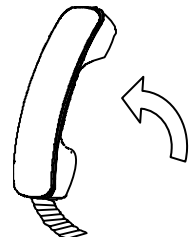
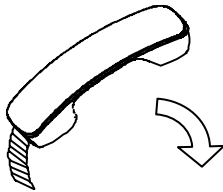
注1: データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注2: プログラマブルキーに[外線発信]ボタンが割付けられている場合に点灯します。

注3: 入力したダイヤルの先頭が"0"及び"1"以外の場合、登録してある「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

●[外線発信]ボタンまたは外線発信特番で発信する

	手順1: [外線発信]ボタンまたは外線発信特番(例:[0])を押します。(注1) ・スピーカから「ツー」という外線発信音が聞こえます。 ・外線発信ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、[スピーカ]ボタンを押します。
	手順4: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (「59' 59」を越えると「00' 00」から再スタートします。)
	手順5: お話が終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: 外線発信特番で発信するには、あらかじめデータ設定で「ワンタッチ外線捕捉設定」を「捕捉する」に設定する必要があります。

注2: 入力したダイヤルの先頭が「0」及び「1」以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話が終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

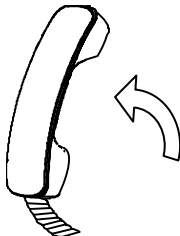
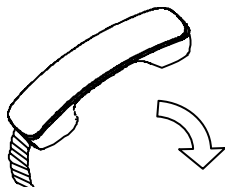
3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.2 ラインキーを使用して外線に電話をかける

ラインキー機能はラインキー対応SIPサーバ接続時のみ使用できる機能です。通信システムの保守者や工事者に確認してから使用してください。

3.2.2.1 送受器をあげてかける

●[ラインキー]ボタンを使う

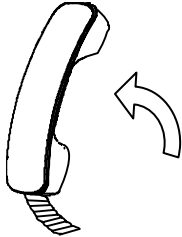
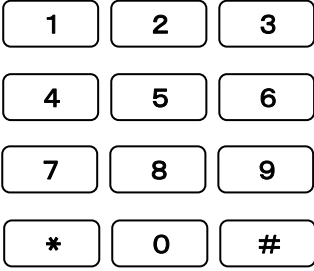
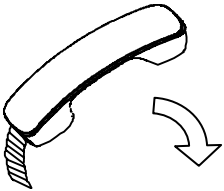
	手順1: 送受器をあげます。(注1) ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？												
ラインキー	手順2: 次に[ラインキー]ボタンを押します。 ・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。												
<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>*</td><td>0</td><td>#</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	手順3: 次にダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) ・LCDに設定したラインポジションの番号が表示されます。 (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 (回線01) ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。
1	2	3											
4	5	6											
7	8	9											
*	0	#											
	手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。												
	手順5: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)												
	手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ラインキーランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。												

注1: データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。

注2: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

●[ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う

	手順1: 送受器をあげます。(注1)(注2) ・送受器から「ツー」という外線発信音が聞こえます。 ・ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ・LCDに設定したラインポジションの番号が表示されます。 ダイヤル？ (回線01)
	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 05001234567 (回線01) 手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ラインキーランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: あらかじめデータ設定で「回線捕捉選択」を「外線発信」に設定する必要があります。

注2: あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

注3: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

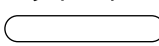
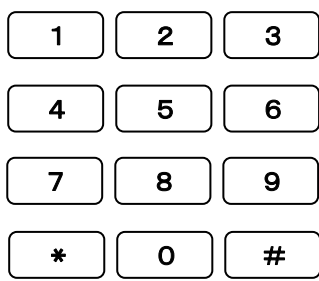
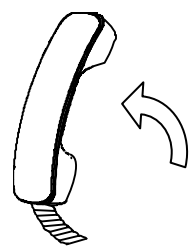
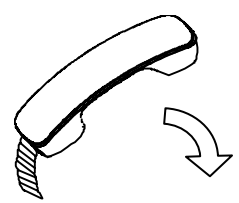
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.2.2 送受器をおろしたままかける

●[スピーカ]ボタン押下後に [ラインキー]ボタンを使う

スピーカ 	手順1:[スピーカ]ボタンを押します。(注1) ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル?」の文字が表示されます。 ダイヤル?
ラインキー 	手順2:次に[ラインキー]ボタンを押します。 ・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。
	手順3:次にダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3) ・LCDに設定したラインポジションの番号が表示されます。 (例)電話番号=05001234567の場合 ダイヤル? 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 (回線01) ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順4:相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。
	手順5:相手がでたら送受器をあげてお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
	手順6:お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ラインキーランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1:データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。

注2:入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

●[ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う

スピーカ 	手順1:[スピーカ]ボタンを押します。(注1)(注2) ・送受器から「ツー」という外線発信音が聞こえます。 ・ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ・LCDに設定したラインポジションの番号が表示されます。 ダイヤル？ (回線01)
	手順2:次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3) (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 05001234567 (回線01) ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順3:相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	手順4:相手がでたら送受器をあげてお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (「59' 59」を越えると「00' 00」から再スタートします。)
	手順5:お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ラインキーランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:05 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1:あらかじめデータ設定で「回線捕捉選択」を「外線発信」に設定する必要があります。

注2:あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

注3:入力したダイヤルの先頭が「0」及び「1」以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

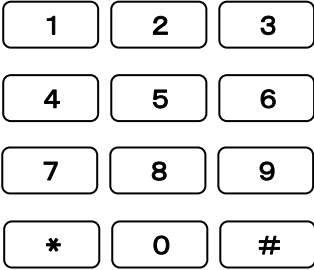
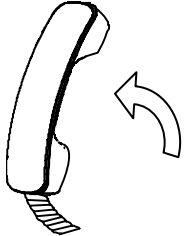
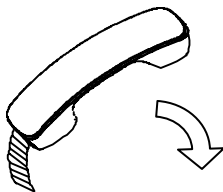
3.3 その他の電話のかけ方

3.3.1 ダイヤルの内容を確認してからかける（プリセットダイヤル）

プリセットダイヤル発信は、入力したダイヤル内容を確認した後に、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことで、発信を開始する機能です。(注1)

●ラインキー発信以外でのプリセットダイヤル方法

ここでは、外線発信の場合について説明します。内線発信の場合も同じ方法でかけることができます。

	手順1: 待機状態から直接相手の電話番号を入力します。 (例)電話番号＝05009876543の場合 プリセットダイヤル 05009876543 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。
	手順2: 入力したダイヤル内容を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。 12月 1日 (木) pm 4:07 05009876543 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプが点滅(I-USE)します。(注2) ・発信を中止する場合、送受器を戻すか再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順3: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 05009876543 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
	手順4: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: プリセットダイヤルを利用する場合は、データ設定の「ワンタッチ外線捕捉設定」を「捕捉なし」にする必要があります。

注2: プログラムブルキーに[外線発信]ボタンが割付けられている場合に点灯します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- ダイヤルの途中で約20秒以内に次の操作を行わなかった場合は、発信を中止し、待機状態に戻ります。

お願い

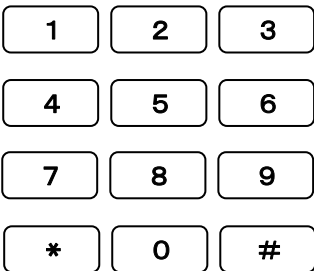
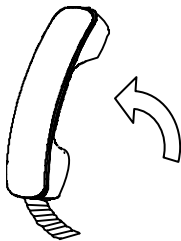
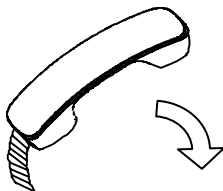
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

●ラインキー発信でのプリセットダイヤル方法

ここでは、ラインキー発信の場合について説明します。（注1）（注2）

	手順1：待機状態から直接相手の電話番号を入力します。 （例）電話番号＝05009876543の場合 プリセットダイヤル 05009876543 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。
	手順2：入力したダイヤル内容を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。 ・発信を開始すると、設定したラインポジションの番号が表示されます。 12月 1日（木） pm 4:07 05009876543 （回線01） ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。 ・発信を中止する場合、送受器を戻すか再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順3：相手がでたらお話しください。 12月 1日（木） pm 4:08 05009876543 00' 10 ・通話時間が表示されます。 （"59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。）
	手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ラインキーランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日（木） pm 4:11 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1：あらかじめプログラマブルキーに[ラインキー]ボタンを割付ける必要があります。

注2：あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- ダイヤルの途中で約20秒以内に次の操作を行わなかった場合は、発信を中止し、待機状態に戻ります。

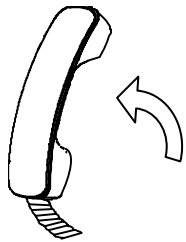
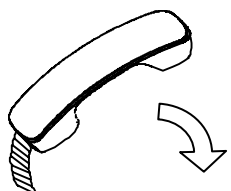
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.2 直前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル）

	手順1: 送受器をあげます。 ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
	手順2: 次に、[発信履歴]ボタンを押すと、直前に発信した相手先(電話番号)にただちに発信します。(注2) ・発信を開始すると、電話番号が表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:07 05001234567 ・外線発信の場合、内線ランプが消灯し 外線発信ランプが点滅(I-USE)します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。
	手順3: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 05001234567 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
	手順4: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプまたは 内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定(回線捕捉選択)によっては外線発信音となることがあります。

注2: 最新の発信履歴内容で発信します。また発信履歴の内容がクリアされていた場合は、表示や発信をしません。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

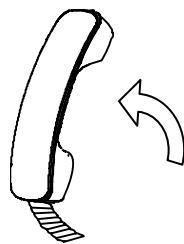
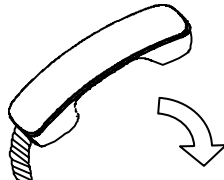
- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.3 発信履歴／着信履歴を検索してかける（履歴ダイヤル）

発信履歴は電話をかけた相手先と日時を、着信履歴はかかってきた電話の相手と日時を、それぞれ20件記録します。またその結果を読み出し、簡単に電話をかけ直すことができます。

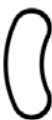
●履歴内容の表示と発信

	手順1: 待機状態から[発信履歴]ボタンまたは[着信履歴]ボタンを押します。 ・相手の名称または電話番号が4件づつ表示されます。 <table><tr><td>01</td><td>未</td><td>00312345678</td></tr><tr><td>02</td><td></td><td>本社営業</td></tr><tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪支社</td></tr><tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr></table> ・電話帳の登録内容と一致した場合、名称が表示されます。 ・応答しなかった(未応答であった)場合、“未”が反転表示されます。(注1) ・外線発信/外線着信の場合、先頭に外線発信特番(例:0)が追加されます。	01	未	00312345678	02		本社営業	03	未	大阪支社	04		2000									
01	未	00312345678																				
02		本社営業																				
03	未	大阪支社																				
04		2000																				
	手順2: [短縮]ボタンまたは[電話帳]ボタンで、目的の履歴を選択します。 <table><tr><td>01</td><td>未</td><td>00312345678</td></tr><tr><td>02</td><td></td><td>本社営業</td></tr><tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪支社</td></tr><tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr></table> 手順3: [設定/決定]ボタンを押すと、記録日時が24時間制で表示されます。 <table><tr><td>02</td><td>発</td><td>12/ 1(木) 15:45</td></tr><tr><td colspan="3">本社営業</td></tr><tr><td colspan="3">5000</td></tr></table> ・[短縮]ボタンまたは[電話帳]ボタンで、前後の履歴を表示します。	01	未	00312345678	02		本社営業	03	未	大阪支社	04		2000	02	発	12/ 1(木) 15:45	本社営業			5000		
01	未	00312345678																				
02		本社営業																				
03	未	大阪支社																				
04		2000																				
02	発	12/ 1(木) 15:45																				
本社営業																						
5000																						
	手順4: 次に、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、表示された相手先に発信を開始します。 <table><tr><td>12月</td><td>1日</td><td>(木)</td><td>pm</td><td>4:07</td></tr><tr><td colspan="5">5000</td></tr></table> ・発信せず、履歴表示を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 ・内容表示中、約20秒以内に次の操作を行わないと、待機状態に戻ります。	12月	1日	(木)	pm	4:07	5000															
12月	1日	(木)	pm	4:07																		
5000																						
	手順5: 相手がでたらお話しください。 <table><tr><td>12月</td><td>1日</td><td>(木)</td><td>pm</td><td>4:08</td></tr><tr><td colspan="5">5000</td></tr><tr><td colspan="5">00' 10</td></tr></table> ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると”00' 00”から再スタートします。)	12月	1日	(木)	pm	4:08	5000					00' 10										
12月	1日	(木)	pm	4:08																		
5000																						
00' 10																						
	手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。																					

注1: データ設定で「不応答履歴記録」を「記録する」と設定した場合、“未”と反転表示されます。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

●履歴内容の消去

着信履歴  /  発信履歴	手順1: 待機状態から[発信履歴]ボタンまたは[着信履歴]ボタンを押します。 ・相手の名称または電話番号が4件ずつ表示されます。 <table><tr><td>01</td><td>未</td><td>00312345678</td></tr><tr><td>02</td><td></td><td>本社営業</td></tr><tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪支社</td></tr><tr><td>04</td><td></td><td>2012</td></tr></table>	01	未	00312345678	02		本社営業	03	未	大阪支社	04		2012																		
01	未	00312345678																													
02		本社営業																													
03	未	大阪支社																													
04		2012																													
電話帳  設定/決定   短縮  メニュー	手順2: [短縮]ボタンまたは[電話帳]ボタンで、消去する履歴を選択します。 <table><tr><td>01</td><td>未</td><td>00312345678</td></tr><tr><td>02</td><td></td><td>本社営業</td></tr><tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪支社</td></tr><tr><td>04</td><td></td><td>2012</td></tr></table> 手順3: [メニュー]ボタンを押すと、「登録/削除」画面が表示されます。 <table><tr><td>1</td><td>電話帳登録</td></tr><tr><td>2</td><td>1件削除</td></tr><tr><td>3</td><td>全件削除</td></tr></table> 手順4: 次に、[短縮]ボタンまたは[電話帳]ボタンで、消去条件を選択し、 [設定/決定]を押します。 <table><tr><td>1</td><td>電話帳登録</td></tr><tr><td>2</td><td>1件削除</td></tr><tr><td>3</td><td>全件削除</td></tr></table> 手順5: 「消去確認」画面で「削除する」を選択し、[設定/決定]を押します。 <table><tr><td colspan="2">発信履歴削除</td></tr><tr><td>1</td><td>削除しない</td></tr><tr><td>2</td><td>削除する</td></tr></table>	01	未	00312345678	02		本社営業	03	未	大阪支社	04		2012	1	電話帳登録	2	1件削除	3	全件削除	1	電話帳登録	2	1件削除	3	全件削除	発信履歴削除		1	削除しない	2	削除する
01	未	00312345678																													
02		本社営業																													
03	未	大阪支社																													
04		2012																													
1	電話帳登録																														
2	1件削除																														
3	全件削除																														
1	電話帳登録																														
2	1件削除																														
3	全件削除																														
発信履歴削除																															
1	削除しない																														
2	削除する																														
	手順6: 削除されると履歴表示がソートされます。 <table><tr><td>01</td><td>未</td><td>00312345678</td></tr><tr><td>02</td><td>未</td><td>大阪支社</td></tr><tr><td>03</td><td></td><td>2012</td></tr><tr><td>04</td><td></td><td>5001</td></tr></table>	01	未	00312345678	02	未	大阪支社	03		2012	04		5001																		
01	未	00312345678																													
02	未	大阪支社																													
03		2012																													
04		5001																													
 クリア/戻る	手順7: [クリア/戻る]ボタンを押すことで、待機状態に戻ります。 <table><tr><td>12月</td><td>1日</td><td>(木)</td><td>pm</td><td>4:15</td></tr><tr><td colspan="5">4000</td></tr></table>	12月	1日	(木)	pm	4:15	4000																								
12月	1日	(木)	pm	4:15																											
4000																															

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 履歴内容表示中、約20秒以内に次の操作を行わないと、待機状態に戻ります。

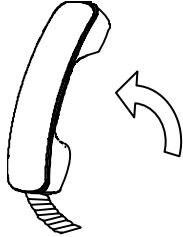
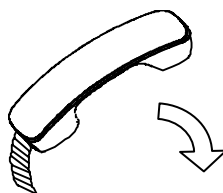
3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.4 電話帳内容を検索してかける（短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル）

電話帳に登録された内容をメモリ番号／名称(フリガナ)/グループ毎に検索して、選択した相手先に発信します。

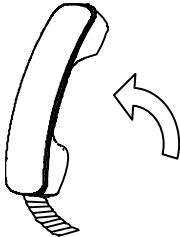
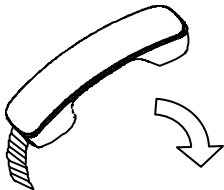
（電話帳は最大200件の登録が可能です。登録操作は3.7項を参照してください。）

●メモリ番号で検索してかける（短縮ダイヤル）

 短縮	手順1: 待機状態から[短縮]ボタンを押すと、「メモリ番号検索」画面が表示されます。 メモリ番号検索 No. ? ■
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 # 電話帳  短縮	手順2: ダイヤルで3桁のメモリ番号([0][0][0]～[1][9][9])を入力し、[設定/決定]ボタンを押すか、[電話帳]または[短縮]ボタンで、目的のメモリを検索後、[設定/決定]ボタンを押します。 メモリ番号検索 No. ? 03 ■ 031 高崎営業所 032 千葉営業所 033 筑波営業所 034 十勝出張所 ・表示は一例です。 ・メモリ番号指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は「該当なし」が表示されます。 ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」が表示されます。
	手順3: 発信先を確認し、送受器をあげると発信を開始します。 12月 1日 (木) pm 4:07 高崎営業所 ・ 外線発信 ランプまたは 内線 ランプが点滅(I-USE)します。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 高崎営業所 00' 10 ・ 通話時間が表示されます。 ("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ 外線発信 ランプまたは 内線 ランプが消灯します。 ・ 約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

● 名称(フリガナ)を検索してかける（電話帳ダイヤル）

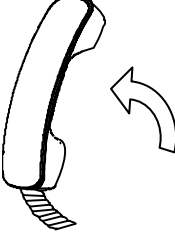
	手順1: 待機状態から[電話帳]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1) フリガナ検索 ■ [カナ]
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 # 電話帳 設定/決定 短縮	手順2: ダイヤルで先頭行([ア],[イ],[ウ],[エ],[オ],[カ],[キ],[ク],[ケ],[コ]など)を入力し[設定/決定]ボタン押下でリストを表示した後、[電話帳]ボタンまたは[短縮]ボタンで、目的のメモリを検索後、[設定/決定]ボタンを押します。(注2) フリガナ検索 タ [カナ] 高崎営業所 ・表示は一例です。 ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」が表示されます。 ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」が表示されます。
	手順3: 発信先を確認し、送受器をあげると発信を開始します。 12月 1日 (木) pm 4:07 高崎営業所 ・ 外線発信ランプまたは 内線ランプが点滅(I-USE)します。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 高崎営業所 00' 10 ・ 通話時間が表示されます。 (”59'59”を越えると”00'00”から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・ 外線発信ランプまたは 内線ランプが消灯します。 ・ 約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

注2: カナ指定の他、数字(スウ)やアルファベット(エイ)などでも検索できます。([メニュー]ボタンで切替)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

●グループで検索してかける

電話帳 	手順1: 待機状態から[電話帳]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1) フリガナ検索 ■ [カナ]
電話帳（長押し） 	手順2: 次に[電話帳]ボタンを約2秒間押すと、「グループ検索」画面に切替ります。 1 グループ1 2 グループ2 3 グループ3 4 グループ4
電話帳  設定/決定  短縮 	手順3: [電話帳]または[短縮]ボタンで目的のグループを選択して、[選択/決定]ボタンを押します。 1 グループ1 2 グループ2 3 グループ3 4 グループ4 ・グループは、電話帳登録時に設定したものでグループ1～9まであります。 ・ダイヤルボタン([1]～[9])で直接選択することもできます。
	手順4: [電話帳]または[短縮]ボタンで目的の相手先を選択します。 佐藤部長 鈴木部長代理 高橋係長 山田主任 ・グループ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」が表示されます。 ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」が表示されます。
	手順5: 発信先を確認し、送受器をあげると発信を開始します。 12月 1日 (木) pm 4:07 鈴木部長代理 ・ 外線発信 ランプまたは 内線 ランプが点滅(I-USE)します。
	手順6: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 鈴木部長代理 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1:グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 電話帳の検索/読出し操作途中で、約60秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。

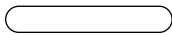
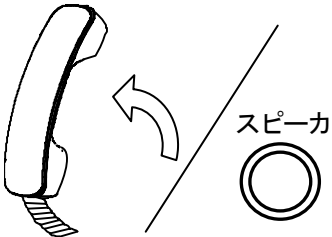
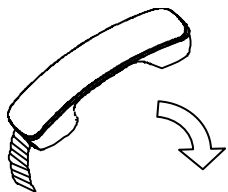
3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.5 ワンタッチダイヤルでかける（ワンタッチダイヤル）

電話帳に登録した相手先を、プログラマブルキーに[ワンタッチダイヤル]ボタンとして割付けておくことで、簡単に電話をかけることができます。

データ設定で「ワンタッチ即時発信」を「発信する」に設定した場合、[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで発信を開始します。

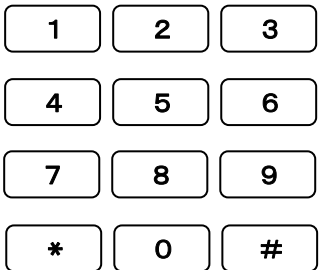
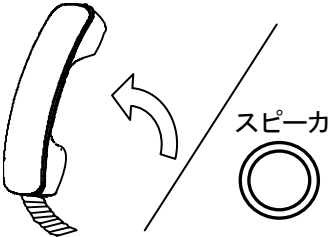
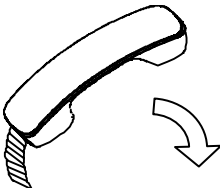
●ワンタッチダイヤルの内容を確認してからかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】

ワンタッチダイヤル 	手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押します。 ・対応する電話帳の登録内容が表示されます。(注1) 12月 1日 (木) pm 4:07 No=001 本社営業 ・変更する場合は、正しい[ワンタッチダイヤル]ボタンか[クリア/戻る]ボタンを押します。
	手順2: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。 12月 1日 (木) pm 4:07 本社営業 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは 内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・発信を中止する場合、送受器を戻すか再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順3: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 本社営業 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)
	手順4: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプまたは 内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]ボタンに電話帳が登録されていない場合、発信はできません。(話中音(BT)となります。)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

●ワンタッチダイヤルとダイヤル入力を組合せてかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】

ワンタッチダイヤル 	手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押します。 ・対応する電話帳の登録内容が表示されます。(注1) 12月 1日 (木) pm 4:07 No=003 コールセンタ ・変更する場合は、正しい[ワンタッチダイヤル]ボタンか[クリア/戻る]ボタンを押します。
	手順2: 続けて、追加する電話番号を入力します。 (例)内線番号(1234)を追加する場合 12月 1日 (木) pm 4:07 No=003 コールセンタ 1234
	手順3: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。 12月 1日(木) pm 4:07 781234 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・発信を中止する場合、送受器を戻すか再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日(木) pm 4:08 781234 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日(木) pm 4:11 4000

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]に電話帳が登録されていない場合、表示されません。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 操作途中で、約20秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。

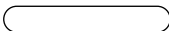
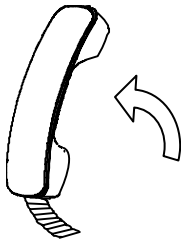
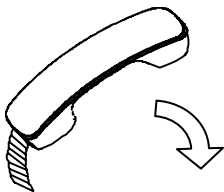
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

●[ワンタッチダイヤル]ボタン押すだけでかける【ワンタッチ即時発信＝発信する】

ワンタッチダイヤル 	手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで、発信を開始します。(注1) 12月 1日(木) pm 4:07 本社営業 ・相手が呼出可能になると、スピーカから呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは 内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・発信を中止する場合、送受器を戻すか再度[スピーカ]ボタンを押します。
	手順2: 相手がでたら、送受器をあげてお話しください。 12月 1日(木) pm 4:08 本社営業 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)
	手順3: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・外線発信ランプまたは 内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日(木) pm 4:11 4000

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]ボタンに電話帳が登録されていない場合、発信はできません。(話中音(BT)となります。)

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 「ワンタッチ即時発信」を「発信する」に設定した場合、[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで発信を開始しますので注意してください。この場合、ダイヤル入力の組合せ発信はできません。
- [ワンタッチ電話帳]ボタンには、直接電話番号を登録できません。電話帳に電話番号を登録した後、登録番号で指定します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

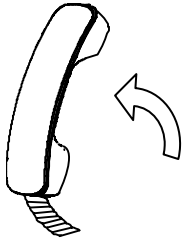
3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.6 発信者番号の通知／非通知を指定してかける（発信者番号通知／非通知選択）

発信時に、相手先電話番号の先頭に186(発信者番号通知)／184(発信者番号非通知)の特番をダイヤルすることで、発信者番号を相手先に通知するか否かを指定することができます。

この特番を省略した場合、データ設定：「発信者番号通知」の設定内容が優先されます。(初期値：通知する)

●番号非通知を指定して外線にかける

	手順1：送受器をあげます。(注1) ・送受器から「ツツツツ．．．」という発信音が聞こえます。(注2) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
0 外線発信特番	手順2：次にダイヤルボタンを用いて外線発信特番を入力します。 (例)外線発信特番＝0の場合は[0]をダイヤルします。 ・送受器からの発信音が「ツー」という音に変わります。 ・外線発信ランプが点滅(I-USE)します。 ダイヤル？
123 456 789 *0#	手順3：次に、番号非通知特番の[1][8][4]をダイヤルします。 ダイヤル？ 1 8 4 手順4：続けて、相手先の電話番号をダイヤルします。 (例)電話番号＝05001234567の場合 ダイヤル？ 1 8 4 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順5：相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 12月 1日(木) pm 4:07 1 8 4 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7
	手順6：相手がでたらお話しください。 12月 1日(木) pm 4:08 1 8 4 0 5 0 0 1 2 3 4 5 6 7 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (「59' 59」を越えると「00' 00」から再スタートします。)

注1：ラインキー設定が行われている場合、ラインキー発信にてかけることができます。

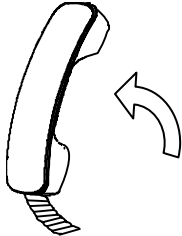
注2：データ設定(回線捕捉選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.7 GWを直接指定してかける（GW直接発信）

SIPサーバを介さずに直接指定されたGW経由で発信する機能です。GW直接発信を示す特番に続けて相手先の電話番号をダイヤルします。

（本機能を使用する場合、あらかじめデータ設定でGW指定情報を登録しておく必要があります。）

	手順1: 送受器をあげます。 ・送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 ダイヤル?
9 GW指定特番	手順2: 次に、GW指定特番を入力します。(注1) (例)GW指定特番=9の場合は[9]をダイヤルします。 ダイヤル? 9
123 456 789 *0#	手順3: 続けて、相手先の電話番号をダイヤルします。 (例)電話番号=106の場合 ダイヤル? 9 1 0 6 手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 12月 1日(木) pm 4:07 9 1 0 6
	手順5: 相手がでたらお話しください。 12月 1日(木) pm 4:08 9 1 0 6 00' 10 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)

注1: 電話帳やワンタッチダイヤルを用いてかける場合は、GW指定特番と相手先の電話番号を合わせて登録してください。

お願い

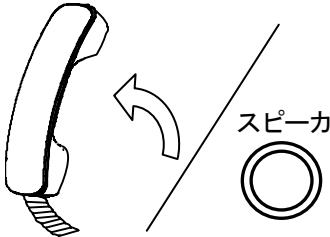
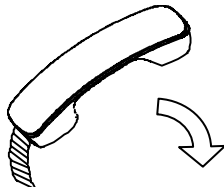
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- GW直接発信は、内線発信操作またはプリセットダイヤル操作で行います。データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信となる場合には、[内線]ボタンを押して内線発信に切替えてください。
- GW直接発信機能を使用する場合、あらかじめ本製品やGW装置に必要な接続情報を設定しておく必要があります。またデータ設定や発信可能範囲等については、通信システムの保守者または工事者にご確認ください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.8 送受器をあげるだけで特定の相手先に発信する（ホットライン）

ホットラインは、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すだけで、あらかじめ登録された相手先をただちに呼出す機能です。（本機能を使用する場合、ホットライン機能に関するデータ設定が必要です。）

	手順1:「ホットライン」機能が設定されている場合、待機状態で次の画面が表示されます。 12月 1日(木) pm 4:07 4000 (ホットライン)
	手順2:送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、ただちに登録した相手先に発信を開始します。（注1） ・次のように発信先が表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:07 防災センタ ホットライン接続 ・発信を中止する場合は、送受器をおろしてください。
	手順3:相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4:08 防災センタ 00' 10 ・通話時間が表示されます。 （"59'59"を越えると"00'00"から再スタートします。）
	手順4:お話しが終わったら送受器をおろします。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:11 4000 (ホットライン)

注1:電話帳(No.199)に電話番号が登録されていない場合は発信できません。（話中音(BT)となります。）

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 次のようなケースでは、相手先に接続することができません。安定した接続が可能なよう運用条件を選定し、必ず接続確認を行ってください。
 - ・電話帳のNo.199に電話番号が登録されていない場合。
 - ・相手先が「不在設定」などにより、着信を受付けない状態にある場合。

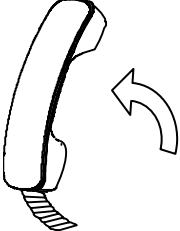
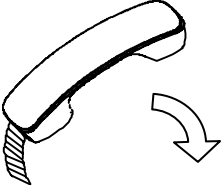
3. 電話機の使い方（着信に应答する）

3.4 着信に应答する

ここでは、かかってきた着信（代表着信/外線ダイヤルイン着信/内線着信/ラインキー着信）に应答する操作について説明します。（注1）

3.4.1 着信を自動的に選択して应答する（オフフック着信应答）

オフフック着信应答は、受話器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことにより、そのときの着信を自動的に選択して应答する機能です。（内線着信 or 外線ダイヤルイン着信 > 代表着信 or ラインキー着信（先着）の順に選択されます。）
（本機能を使用する場合、あらかじめデータ設定で「オフフック自動应答」を設定しておく必要があります。）

	手順1: 電話がかかってくると、着信音が鳴り(注2)、着信ランプと該当する回線の着信表示(代表着信・ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。(注3) (例)電話番号=05001234567からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 05001234567 (例)電話帳に登録された相手(大阪支社)からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 大阪支社 ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。
	手順2: 送受器をあげると着信に应答し、お話しができます。 ・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。 ・代表着信またはラインキー着信に应答した場合、他の端末の代表着信ランプは消灯し、ラインキーランプは赤点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 05001234567 00' 20 ・通話時間が表示されます。 ("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順3: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・該当する回線表示ランプが消灯します。 12月 1日 (木) pm 4:28 4000

注1: ラインキー着信はラインキー対応SIPサーバ接続時のみ使用できる機能です。

注2: データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注3: 应答する着信の情報が表示されます。また発信者情報の表示については、3.6.5項を参照してください。

お願い

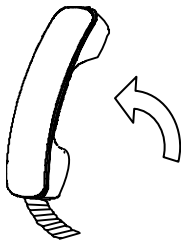
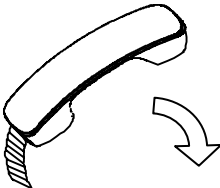
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（着信に応答する）

3.4.2 着信(回線)を指定して応答する（プリセクション）

プリセクションは、応答する着信表示中の[代表着信]ボタンまたは[ラインキー]ボタンを押した後、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことで、目的の着信を選択して応答できる機能です。

	手順1: 電話がかかってくると、着信音が鳴り(注1)、着信ランプと該当する回線の着信表示(代表着信・ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。(注2) (例)内線着信が表示されている状態 12月 1日 (木) pm 4:25 2012
代表着信 ラインキー 外線ダイヤルイン着信 内線 	手順2: 応答する着信表示中の回線([代表着信]/[ラインキー]/[外線ダイヤルイン着信]/[内線])ボタンを押します。 ・選択された着信の情報が表示されます。 (例)[代表着信]ボタン(電話番号=05001234567からの着信)を選択 12月 1日 (木) pm 4:25 05001234567 ・異なる回線ボタンを押すことで、応答する着信が切替ります。(注3)
	手順3: 送受器をあげると着信に応答し、お話しができます。(注3) ・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。 ・代表着信またはラインキー着信に応答した場合、他の端末の代表着信ランプは消灯し、ラインキーランプは赤点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 05001234567 00' 20 ・通話時間が表示されます。("59'59"を越えると"00'00"から再スタートします。)
	手順4: お話しが終わったら送受器をおろします。 ・該当する回線表示ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:28 4000 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注2: 代表着信中またはラインキー着信中に外線ダイヤルイン着信・内線着信の電話がかかってきた場合は、外線ダイヤルイン着信・内線着信が優先されます。

注3: 応答する着信の情報が表示されます。また約4秒以内に応答もしくは次の操作を行わないと、表示や応答の対象回線が元の着信に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 回線を選択後、4秒以内に応答もしくは次の選択操作を行ってください。
- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラ音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

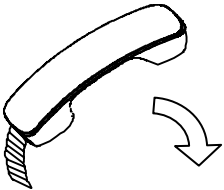
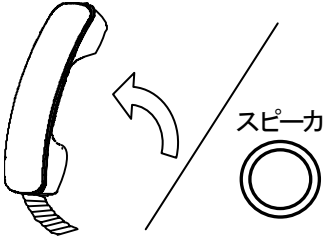
3.5 通話を保留する、転送する

ここでは、通話を保留したり、他の電話機に転送する操作について説明します。

3.5.1 通話を一時保留する

[保留]ボタンを押すことにより通話を保留し、相手側に保留音を送出します。また保留を解除して通話に戻ることができます。

●保留後、送受器をおろしてから保留を解除する

保留 	手順1: お話中に[保留]ボタンを押します。 12月 1日 (木) pm 4:26 2012 00' 30
	手順2: 保留すると、「保留中」が表示され、相手側に保留音を送出されます。 (注1) ・送受器とスピーカから保留音を送出されます。(注2) ・着信ランプが点滅(60INT)し、スピーカランプが点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 保留中 00' 40 ・この状態では、双方の会話は聞こえません。
	手順3: 送受器をおろします。 ・表示などは変わりません。
	手順4: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、保留が解除されます。 ・保留音が止まり、相手先との通話に戻ります。 ・通信中画面に戻り、着信ランプと、スピーカランプが消灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 2012 00' 50

注1: 相手に送出される保留音と保留した側で送出される保留音とが異なることがあります。

注2: データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長期間保留時の警報報知の有無などを切替えることができます。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

●保留後、すぐに保留を解除する

保留 	手順1: お話中に[保留]ボタンを押します。 12月 1日 (木) pm 4:26 2012 00' 30
	手順2: 保留すると、「保留中」が表示され、相手側に保留音が送出されます。 (注1) ・送受器とスピーカから保留音が送出されます。(注2) ・着信ランプが点滅(60INT)し、スピーカランプが点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 保留中 00' 40 ・この状態では、双方の会話は聞こえません。
保留 	手順3: 送受器を置かない状態から、保留を解除する場合は、[保留]ボタンを押します。 ・保留音が止まり、相手先との通話に戻ります。 ・通信中画面に戻り、着信ランプと、スピーカランプが消灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 2012 00' 50

注1: 相手に送出される保留音と保留した側で送出される保留音とが異なることがあります。

注2: データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長期間保留時の警報報知の有無などを切替えることができます。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 上記による保留中は、保留解除以外の操作はできません。必ず保留を解除してください。

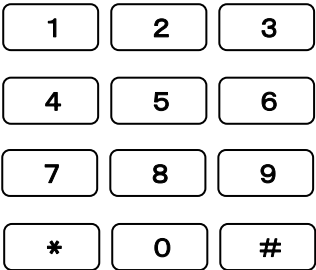
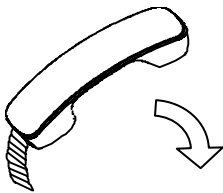
3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

3.5.2 別の相手を呼出して通話を転送する

通話中の転送は、通話を保留し、別の電話機(転送先)を呼出した後、通話を切替える機能です。

転送先に用件を伝えた後に切替える「応答後転送」と、転送先を呼出している状態で切替える「応答前転送」の形態があります。

●転送先を呼出して切替える（応答前転送）

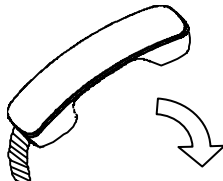
転送 	手順1：お話し中に[転送]ボタンを押すと、通話を保留し転送先発信状態となります。 ・“転送先？”が表示され、送受器から「ツツツツ．．．」という発信音が聞こえます。 転送先？
	手順2：次に、転送先の電話番号をダイヤルします。 (例)転送先電話番号＝3456の場合 転送先？ 3 4 5 6 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを短く押します。 ・[クリア/戻る]ボタンを約2秒間押すと、転送発信を中止します。 手順3：転送先の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると転送先への発信を開始します。 12月 1日 (木) pm 4 : 25 3 4 5 6
	手順4：転送先を呼出中に、送受器をおろすと転送を開始します。 12月 1日 (木) pm 4 : 25 3 4 5 6 転送中 ・[転送]ボタンを押すと、転送先への発信を中止し、元の通話に戻ります。
	手順5：転送が完了すると「転送完了」と表示されます。(注1) 12月 1日 (木) pm 4 : 25 3 4 5 6 転送完了 ・しばらくすると待機状態に戻ります。

注1：転送に失敗した場合、「転送失敗」が表示され、元の通話に戻すための呼返し(着信)がかかります。

注2：転送先が、IP電話サービス網をご利用した電話機の場合は、相手端末や通信網の状態によっては、転送に失敗する恐れがあります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

●転送先に用件を伝えてから切替える（応答後転送）

転送 	手順1: お話中に[転送]ボタンを押すと、通話を保留し、転送先発信状態となります。 ・"転送先?"が表示され、送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 転送先?
123 456 789 *0#	手順2: 次に、転送先の電話番号をダイヤルします。 (例)転送先電話番号＝3456の場合 転送先? 3 4 5 6 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを短く押します。 ・[クリア/戻る]ボタンを約2秒間押すと、転送発信を中止します。 手順3: 転送先の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると転送先への発信を開始します。 12月 1日 (木) pm 4:25 3 4 5 6 ・[転送]ボタンを押すと、転送先への発信を中止し、元の通話に戻ります。
	手順4: 転送先が応答後、用件(通話を転送すること)を伝えます。 12月 1日 (木) pm 4:25 3 4 5 6 00' 20 ・[転送]ボタンを押すと、転送先との通話を保留し、元の通話に戻ります。 ・[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送先との通話を切断し元の通話に戻ります。
	手順5: 送受器をおろすと転送を開始します。 12月 1日 (木) pm 4:25 3 4 5 6 転送中
	手順6: 転送が完了すると「転送完了」と表示されます。(注1) 12月 1日 (木) pm4:25 3 4 5 6 転送完了 ・しばらくすると待機状態に戻ります。

注1: 転送に失敗した場合、「転送失敗」が表示され、元の通話に戻すための呼返し(着信)がかかります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

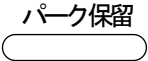
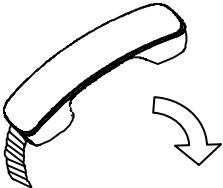
3.5.3 パーク保留する、パーク保留を解除する

パーク保留は、通話を[パーク保留]ボタンに連携して保留し、グループ内の電話機に保留状態を通知します。グループ内の電話機で該当する[パーク保留]ボタンを押すことで、応答(保留解除)できる機能です。
(本機能を利用するためには、パーク保留グループやパーク保留解除特番を設定しておく必要があります。)

●パーク保留する

空いている(ランプの点灯していない)[パーク保留]ボタンを押します。

ラインキー使用時は[保留]ボタンを押します。以後のLED点灯は、**ラインキー**ランプが点灯します。

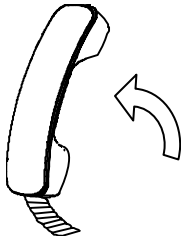
	手順1: お話し中に、空いている[パーク保留]ボタンを押します。 ・「パーク保留起動」が表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:26 パーク保留起動
	手順1': お話し中に、空いている[保留]ボタンを押します。(注1) ・「パーク保留起動」が表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:26 パーク保留起動
	手順2: パーク保留が受け付けられると、「パーク保留中」が表示されます。 ・通話時間が表示され、該当の パーク保留 ランプが緑点滅(I-HOLD)します。 12月 1日 (木) pm 4:26 パーク保留中 00' 05 ・グループ内の電話機で該当の パーク保留 ランプは、赤点滅(60INT)となります。
	手順3: 送受器をおろすとパーク保留が完了します。 ・「パーク保留中」が表示され、該当の パーク保留 ランプが緑点滅(I-HOLD)となります。 12月 1日 (木) pm 4:27 パーク保留中 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

注1: ラインキー使用時、またはデータ設定により自己保留形式を「パーク保留」とした場合の動作になります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

●パーク保留を解除する

保留した電話機またはグループ内の電話機から、保留状態の[パーク保留]ボタンを押します。
ラインキー使用時は[ラインキー]ボタンを押します。

パーク保留 	手順1: 保留状態にある[パーク保留]ボタンを押します。(注1) 12月 1日 (木) pm 4:27 パーク保留中
ラインキー 	手順1': 保留状態にある[ラインキー]ボタンを押します。(注1)(注2) 12月 1日 (木) pm 4:27 パーク保留中
	手順2: 送受器をあげ、パーク保留解除を起動します。 ・内線ランプが点滅(I-USE)します。(注3) 12月 1日 (木) pm 4:27 パーク保留解除
	手順3: パーク保留が解除されると、通話状態となります。 12月 1日 (木) pm 4:28 00' 05 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。) ・グループ内の電話機の該当の [パーク保留] ランプは、消灯となります。

注1: どの[パーク保留][ラインキー]ボタンを選択するかは、保留した人から指示します。

注2: ラインキー使用時の動作になります。

注3: ラインキー使用時は消灯のままになります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 上記による保留中は、その他の操作も行うことができます。
- [パーク保留]ボタンが割当られていない電話機からは、応答(保留解除)することができません。
- データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長期間保留時の警報報知の有無などを切替えることができます。

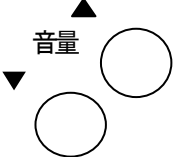
3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6 便利な機能

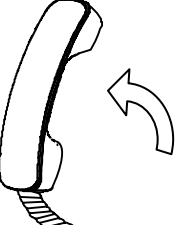
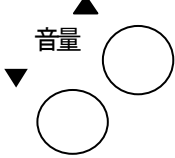
3.6.1 音量を調整する

着信音／ハンドセット受話／スピーカ受話の音量を調整することができます。

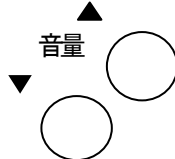
●着信音量の調整

	手順1: 待機状態で、[▲(音量)]または[▼(音量)]ボタンを押し、適切な音量に調整します。 ・現在の音量が表示されます。(操作を終了すると元の表示に戻ります。) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 着信音量 ■■■□ ・着信時(呼出リング音鳴動中)にも調整ができます。 ・音量は「小」、「標準」、「大」、「特大」の4段階に変化します。
---	---

●ハンドセット受話音量の調整

	手順1: 送受器をあげます。(通話状態でも可) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 2012 01' 30
	手順2: [▲(音量)]または[▼(音量)]ボタンを押し、適切な音量に調整します。 ・現在の音量が表示されます。(操作を終了すると元の表示に戻ります。) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 2012 01' 30 受話音量 ■■■□ ・通話状態でも送受器の受話音量の調整ができます。 ・音量は「小」、「標準」、「大」、「特大」の4段階に変化します。

●スピーカ受話音量の調整

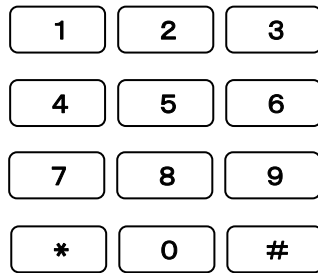
	手順1: [スピーカ]ボタンを押し、スピーカ受話状態とします。(通話中でも可) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 2012 01' 30
	手順2: [▲(音量)]または[▼(音量)]ボタンを押し、適切な音量に調整します。 ・現在の音量が表示されます。(操作を終了すると元の表示に戻ります。) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 2012 01' 30 スピーカ音量 ■■■□ ・通話状態でもスピーカ受話音量の調整ができます。 ・音量は「小」、「中」、「大」、「特大」の4段階に変化します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.2 通話中にプッシュ信号を送出する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号を相手先に送出することができます。

残高照会や座席予約サービスや、交換機のダイレクトインダイヤル(DID)機能として内線を呼出すサービスなどにアクセスすることができます。



手順1: 電話がつながったらダイヤルボタン([0]~[9],[*],[#])を押します。

- ・プッシュ信号が送られます。

- ・押した番号が表示されます。

(例)ダイヤル[#][1][1][1][1]の場合

12月 1日 (木) pm 4:26
#1111
01' 30

手順2: 最後にダイヤルボタンを押してから約20秒経過すると元の表示に戻ります。

12月 1日 (木) pm 4:26
2012
01' 50

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.3 送受器をもたずに通話する（ハンズフリー通話）

マイクとスピーカを用いて、送受器を持たずに通話することができます。

ハンズフリー通話は、スピーカ受話状態で、[マイク]ボタンを押すことで有効になります。

（マイクランプとスピーカランプが点灯します。また送受器はおろした状態としてください。）

	手順1：待機状態で[マイク]ボタンを押します。（注1） ・[マイク]ランプが点灯します。
	手順2：[スピーカ]ボタンを押します。 ・[スピーカ]ランプが点灯し、スピーカから発信音が聞こえます。 ・LCDに”ダイヤル？”の文字が表示されます。 ダイヤル？
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #	手順3：次に、ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。（注2） （例）内線番号＝2000の場合 ダイヤル？ 2000 手順4：相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、もう一度[スピーカ]を押します。
	手順5：相手がでたらそのままお話しください。（注1） 12月 1日（木） pm 4：28 2000 00' 10 ・通話時間が表示されます。（”59'59”を越えると”00'00”から再スタートします。）
	手順6：お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。 ・[スピーカ]ランプが消灯し、約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日（木） pm 4：30 4000

注1：手順1の代わりに、手順5で[マイク]ボタンを押すこともできます。

注2：ハンズフリー通話は、外線、内線、いずれの通話でも利用できます。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- ハンズフリー通話とハンドセット通話は、同時にはご利用できません。

お願い

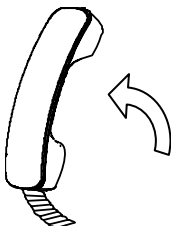
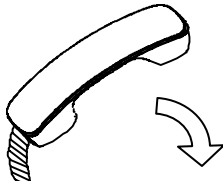
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- ハンズフリー通話時は、ご利用になる環境により通話が困難になることがありますので、下記の環境ではハンドセット通話を行ってください。
 - ・周囲の雑音が大きいとき
 - ・テレビ、ラジオの近く
 - ・音が反響しやすいところ
 - ・相手の方がハンズフリーのとき

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.4 盗聴防止モードで通話する

盗聴防止モードは、通話音声暗号化して相手の電話機に送ることにより、通話内容の秘匿性を高めるものです。通話開始後に、プログラマブルキーに割付けた[盗聴防止]ボタンを押すと、通常の通話モードから盗聴防止モードになります。（盗聴防止モードによる通話は、本製品相互の内線通話でご利用ください。）

	手順1: 送受器をあげます。 ・送受器から発信音が聞こえ、「ダイヤル？」が表示されます。 ダイヤル？
123 456 789 *0#	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。 （例）内線番号＝2000の場合 ダイヤル？ 2000 手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器を戻します。
盗聴防止	手順4: 相手がでたら、[盗聴防止]ボタンを押します。 ・[盗聴防止]ランプが点灯し、盗聴防止モードでの通話が開始されます。 ・相手側では、[盗聴防止]ランプが緑点滅(60INT)します。 ・画面に“ 〇 ”が表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:28 2000 00' 10 〇 ・盗聴防止モードを解除する場合は、起動した側で再度[盗聴防止]ボタンを押します。（注1） - また通話を保留したり、転送したり、保留されたりすると盗聴防止モードが自動的に解除されます。再度盗聴防止モードに切替える場合は、[盗聴防止]ボタンを押してください。 ・相手装置が盗聴防止モードをサポートしていない場合や、盗聴防止モードが解除された場合は、盗聴防止ランプが消灯となります。
	手順5: お話が終わったら送受器をおろします。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:30 4000

注1: 盗聴防止を一度解除し再び盗聴防止モードに切替える場合、最初に起動した電話機で操作してください。相手の電話機からは盗聴防止モードになりません。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 盗聴防止モードを利用する場合、双方の電話機に[盗聴防止]ボタンを割付けておく必要があります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 保留や転送など操作によって盗聴防止モードが解除されます。必要に応じて [盗聴防止] ランプの状態を確認してください。また盗聴防止モードは、通話内容の解読を困難にするもので、盗聴の可能性をなくすものではありません。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.5 発信者情報の表示

着信時に、電話をかけてきた相手の電話番号を表示します。

電話帳の登録内容に一致した場合はその名称が、また発信者番号を非通知でかけてきた場合など、「非通知」や「相手が不明です」の文字が表示されます。

●外線着信の場合

電話帳の内容と一致しない場合、電話番号が表示されます。

12月 1日（木） pm 4:26
0312345678

●内線着信の場合

電話帳の内容と一致しない場合、電話番号が表示されます。

12月 1日（木） pm 4:26
6123

●電話帳登録内容と一致した場合（名称表示）

電話帳の内容と一致した場合、登録されている名称が表示されます。

12月 1日（木） pm 4:26
本社総務

●番号非通知でかけてきた場合

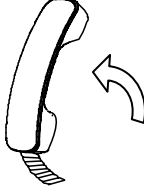
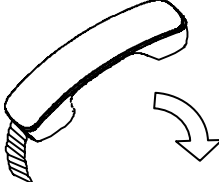
「非通知」の文字が表示されます。

12月 1日（木） pm 4:26
非通知

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.6 切断時の理由表示

相手先に電話がかけられなかった場合など、その理由情報が表示されます。

	手順1: 送受器をあげます。 ダイヤル？
123 456 789 *0#	手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力して発信します。 ダイヤル？ 2099
	手順3: 相手に接続できない場合、話中音(BT)が送出され、次のような理由情報が表示されます。 ・相手端末や内容によっては、情報が表示されないことがあります。 (例)相手装置が接続されていない場合 12月 1日 (木) pm 4:26 2099 >相手応答なし (例)相手装置が通話中の場合 12月 1日 (木) pm 4:26 6123 >相手ビジー(486)
	手順4: 内容を確認したら、送受器をおろします。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:26 4000

●理由表示と対応の例

表示内容(注1)	相手の状態	対応
> 相手ビジー	通話中など、電話を受けられない状態を示します。	・しばらく待ってからかけ直してください。
> 相手応答なし	電源が入っていなかったり、ネットワークに接続されていない等、SIPサーバが認識していない相手にかけたことを示します。	・電話番号を確認してください。 ・相手装置の接続やデータ設定を確認してください。 ・頻繁に表示される場合は、操作とエラーの表示内容(コード)を連絡し、指示を受けてください。
> その他エラー	上記以外の障害を示します。	・しばらく待ってからかけ直してください。 ・頻繁に表示される場合は、操作とエラーの表示内容(コード)を連絡し、指示を受けてください。

注1: エラー状態に応じたエラーコードが、併せて表示されることがあります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.7 不在設定

不在設定は、離席や外出など電話にでられない場合に、[不在]ボタンを押すことで着信を受けなくする機能です。

●不在を設定する

不在 	手順1: 待機状態で[不在]ボタン押して、「(不在)」が表示されることを確認します。 このとき、着信ランプも点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 4000 (不在)
---	---

●不在設定を解除する

不在 	手順1: 待機状態で[不在]ボタン押して、「(不在)」の表示が消えることを確認します。このとき、着信ランプも消灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 4000
---	--

●電話をかけた側の表示（本製品の場合）

不在 	手順1: 電話をかけると、話中音(BT)が聞こえ、不在を示すメッセージが表示されます。 12月 1日 (木) pm 4:26 4000 >相手ビジー(486)
---	---

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 不在設定中は、外線ダイヤルイン着信と内線個別着信を拒否します。また代表着信やパーク保留への応答、発信やメモリ登録など、その他の機能は利用することができます。
- 不在設定中に拒否した外線ダイヤルイン着信と内線個別着信の着信履歴は記録されません。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.8 ヘッドセットを使用する

ヘッドセットを使って、通話を行うことができます。[ヘッドセット使用]ボタンを押して、ヘッドセットモードに設定してからご使用ください。（「ヘッドセット使用」ランプが赤点灯します。）

●ヘッドセットモードで発信する(注1)

スピーカ 	手順1: [スピーカ]ボタンを押します。 ・ヘッドセットから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注2) ・「内線」ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに「ダイヤル？」の文字が表示されます。 ダイヤル？
	手順2: 次に、ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。(注2) (例)内線番号＝2000の場合 ダイヤル？ 2 0 0 0 ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤル[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。 ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、もう一度[スピーカ]を押します。
	手順4: 相手がでたらお話しください。 12月 1日 (木) pm 4 : 01 2 0 0 0 00' 10 ・通話時間が表示されます。 ("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
	手順5: お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。 ・「内線」ランプが消灯します。 12月 1日 (木) pm 4 : 05 4 0 0 0 ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

注1: 上記の発信動作は内線発信について記載しています。外線発信については、**3.2.1.2 オンフック外線発信**を参照してください。

注2: データ設定(回線捕捉選択)によっては外線発信となることがあります。この場合、外線発信音を聴いている状態から[内線]ボタンを押してください。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

●ヘッドセットモードで着信応答する(自動応答機能を使用しない場合)

ハンドセットによる着信応答操作を、[スピーカ]ボタンのみ使用して行います。

	手順1: 電話がかかってくると、着信音が鳴り(注1)、着信ランプと該当する回線の着信表示(代表着信・ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。(注2) (例)電話番号＝05001234567からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 05001234567 (例)電話帳に登録された相手(大阪支社)からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 大阪支社 ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。
スピーカ 	手順2: [スピーカ]ボタンを押すと着信に応答し、お話しができます。 ・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。 ・代表着信またはラインキー着信に応答した場合、他の端末の代表着信ランプは消灯し、ラインキーランプは赤点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:26 05001234567 00' 20 ・通話時間が表示されます。 ("59' 59"を越えると"00' 00"から再スタートします。)
スピーカ 	手順3: お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。 ・該当する回線表示ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:28 4000

注1: データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注2: 応答する着信の情報が表示されます。また発信者情報の表示については、3.6.5 発信者情報の表示を参照してください。

※上記の他、プリセクションを行い、着信応答する方法があります。(3.4.2 着信(回線)を指定して応答する (プリセクション)を参照してください。)

3. 電話機の使い方（便利な機能）

●ヘッドセットモードで着信応答する(自動応答機能を使用する場合) (注1)

(ヘッドセット使用ランプが緑点灯します。)

	手順1: 電話がかかってくると、着信音が鳴り(注2)、着信ランプと該当する回線の着信表示(代表着信・ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。(注3) (例)電話番号＝05001234567からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 05001234567 (例)電話帳に登録された相手(大阪支社)からの着信 12月 1日 (木) pm 4:25 大阪支社 ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。
	手順2: 設定された時間が経過すると自動で着信に応答し、お話しができます。(注4、5) ・ヘッドセットから「プープー」という応答音が聞こえます。 ・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。 12月 1日 (木) pm 4:26 05001234567 00' 20 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)
スピーカ 	手順3: お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。 ・該当する回線表示ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 12月 1日 (木) pm 4:28 4000 ・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1:「自動応答機能」の設定については、通信システムの保守者または工事者にご確認ください。

注2: データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注3: 応答する着信の情報が表示されます。また発信者情報の表示については、**3.6.5 発信者情報の表示**を参照してください。

注4: 代表着信には応答することができません。

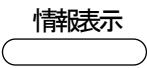
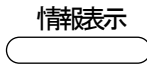
注5: データ設定により、応答までの時間を設定することができます。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.9 ASPサーバを使用して文字情報を表示する

ASPサーバに接続することで、ASPサーバから指定された文字情報をLCDに表示することができます。
（本機能を利用するためには、情報表示サーバ設定を行っておく必要があります。）

●電話機操作により、文字情報を表示する

	手順1: 待機状態で、赤点灯している[情報表示]ボタンを押します。(注1) 12月 1日 (木) pm 4 : 26 4000
	手順2: LCDにASPサーバで設定された文字情報が表示されます。 ・[情報表示]ランプが緑点灯します。 【文字情報表示中】
	手順3: 再度、[情報表示]ボタンを押すと、待機状態に戻ります。 ・[情報表示]ランプが赤点灯します。 12月 1日 (木) pm 4 : 27 4000 ・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1: データ設定「情報表示サーバ接続」を「有効」にすることで、プログラマブルキー24は[情報表示]ボタンになります。ASPサーバに接続されると[情報表示]ランプが赤点灯になります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

●ASPサーバからの起動により、文字情報を表示する

	手順1：待機状態で、ASPサーバからの文字情報表示通知を受信すると、LCDに「サーバコール」の文字が表示されます。（注1） ・情報表示ランプが赤点滅(120INT)し、ASPサーバから指定されたアラーム音が鳴動します。 12月 1日 (木) pm 4:26 4000 サーバコール
情報表示	手順2：赤点滅(120INT)している[情報表示]ボタンを押します。（注2） 12月 1日 (木) pm 4:26 4000 サーバコール
	手順3：LCDにASPサーバで設定された文字情報が表示されます。 ・情報表示ランプが緑点灯します。又、アラーム音鳴動が停止します。 【文字情報表示中】
情報表示	手順4：再度、[情報表示]ボタンを押すと、待機状態に戻ります。 ・情報表示ランプが赤点灯します。 12月 1日 (木) pm 4:27 4000 ・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1：データ設定「情報表示サーバ接続」を「有効」にすることで、プログラマブルキー24は[情報表示]ボタンになります。ASPサーバに接続されると**情報表示**ランプが赤点灯になります。

注2：データ設定「サーバコール自動接続」を「自動接続」に設定すると、手順2は省略されます。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.10 ワンタッチサービス特番

ワンタッチサービス特番によって、サーバで準備されたサービスの操作を行うことができます。

データ設定「サービス区分詳細情報」の設定内容により、次の三種類のパターンのサービス进行操作できます。

パターン1: 待機中に、サービスの起動停止が出来ます。（ランプ、LCD 表示、および音声でサービスの状況を確認することが出来ます）

パターン2: 待機中に、使用中のラインキーに対してのサービスの起動停止が出来ます。（ランプ、LCD 表示、および音声でサービス状況を確認することが出来ます。）

パターン3: 待機中もしくは通話中にサービスの起動停止が出来ます。（ランプ、LCD 表示でのみサービスの状況を確認することが出来ます。）

サーバ側設定等に応じたデータ設定等の詳細は通信システムの管理者や工事者に確認してください。

●（例）パターン1：待機状態にサービスを開始する場合（注1）

ワンタッチサービス特番 	手順1: 待機状態で[ワンタッチサービス特番]ボタンを押すと、サーバに対して設定した起動特番と情報選択コードで発信します ・内線ランプが点滅(1-USE)します。 ・スピーカランプが点灯します。 ・2行目にサービス名称に登録した内容を表示します。（注3） 12月 1日（木） pm 4:26 夜間切替
	手順2: サービスを開始します。（注2）（注3） ・ワンタッチサービス特番ランプが赤点灯します。 ・スピーカからサービスに対応した音声ガイダンスが流れます。（注4） 12月 1日（木） pm 4:26 夜間切替 00' 00
スピーカ 	手順3: [スピーカ]ボタンを押すと、サービスを継続したままで、待機状態に戻ります。（注2） ・内線ランプが消灯します。 ・スピーカランプが消灯します。 12月 1日（木） pm 4:27 4000 ・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1：データ設定「サービス区分詳細情報」で「サービス種別コード」を01～08に設定しておく必要があります。

注2：サーバの設定によっては、LCDの4行目に文字を表示する場合があります。

注3：サービス名称が登録されていない場合は、起動特番と情報選択コードを表示します。

注4：サーバに設定されたサービスによって、流れる音声ガイダンスの内容は異なります。（ガイダンス無しの場合もあります）

3. 電話機の使い方（便利な機能）

●（例）パターン1：待機状態でサービスを停止する場合

ワンタッチサービス特番 	手順1：待機状態で、赤点灯している[ワンタッチサービス特番]ボタンを押すと、サーバに対して、設定した解除特番で発信します。（注1） ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・スピーカランプが点灯します。 ・2行目にサービス名称に登録した内容を表示します。（注2） 12月 1日（木） pm 4：26 夜間切替
	手順2：サービスを停止します。 ・ワンタッチサービス特番ランプが消灯します。 ・スピーカからサービスに対応した音声ガイダンスが流れます。（注3） 12月 1日（木） pm 4：26 夜間切替 00' 00
スピーカ 	手順3：[スピーカ]ボタンを押すと、待機状態に戻ります。 ・内線ランプが消灯します。 ・スピーカランプが消灯します。 12月 1日（木） pm 4：27 4000 ・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1：サーバの設定によっては、LCDの4行目に文字を表示する場合があります。

注2：サービス名称が登録されていない場合は、起動特番と情報選択コードを表示します。

注3：サーバに設定されたサービスによって、流れる音声ガイダンスの内容は異なります。（ガイダンス無しの場合もあります）

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

3.7 メモリ登録

ここでは、ユーザが任意に設定できる電話帳やワンタッチダイヤルの登録方法について説明します。
その他のデータ設定や変更は、通信システムの管理者や工事者に依頼してください。

3.7.1 電話帳の登録

電話帳には、相手先の名称/フリガナ/電話番号/グループ区分を、最大200件登録することができます。
ここでは、電話帳への相手先情報の登録操作について説明します。

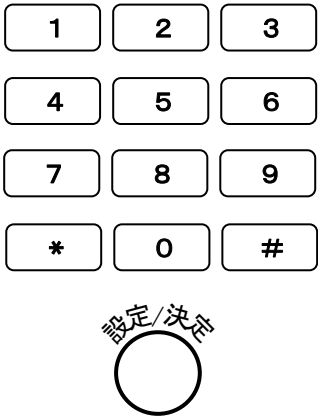
●電話帳に新規に登録する

電話帳（長押し） 	手順1: [電話帳]ボタンを約2秒間押し、「名称入力」画面が表示されます。 (注1) 名称入力 ■ [漢]
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #	手順2: ダイヤルボタンで名称を入力します。(注2) ・漢字変換などの入力操作は、4.1 ダイヤルボタンで文字を入力するを参照してください。 (ダイヤルでひらがな入力、[短縮]ボタンで漢字候補を選択し、[設定/決定]ボタンで確定) 名称入力 前橋工場■ [漢] ・最大で全角8文字(半角16文字)まで登録できます。
電話帳 設定/決定 短縮	手順3: 名称入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「フリガナ入力」画面が表示されます。ダイヤルボタンでフリガナを入力します。(注2) フリガナ入力 マエバシコウジョウ■ [カナ] ・最大で半角カナ15桁まで登録できます。 ・「フリガナ」は電話帳検索用の情報として使用されます。
	手順4: フリガナ入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「電話番号入力」画面を表示します。ダイヤルボタンで電話番号を入力します。(注2)(注3) 電話番号入力 002725■ ・最大で半角数字31桁まで登録できます。
	手順5: 電話番号入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「グループ選択」画面を表示します。ダイヤルボタン([1]~[9])または[短縮]・[電話帳]ボタンと[設定/決定]ボタンを用いて登録するグループを指定します。 グループ選択 1 グループ1 2 グループ2 3 グループ3 ・「グループ番号」は電話帳検索用の情報として使用されます。

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

（前ページより）

	手順6: 次に「メモリ番号入力」画面で、電話帳の登録位置を指定します。ダイヤルで[0][0][0]～[1][9][9]の3桁を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。 ・メモリ番号を入力しないで[設定/決定]ボタンを押すと、空いているメモリを自動的に選択して登録します。(注2) メモリ番号入力 000～199で指定 ■ ・既に登録されているメモリを指定した場合、「上書き確認」画面が表示されます。 ・メモリ番号＝199は、「ホットライン」の発信先として使用されます。
	手順7: 登録が完了すると、「登録しました」または「上書きしました」画面が表示されます。 電話帳登録 No. 000 登録しました ・続けて登録する場合は、[設定/決定]または[電話帳]ボタンを押します。 ・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳]ボタンを約2秒間押します。

注1: 電話帳の空きメモリがない場合、「空きがありません」のメッセージが表示されます。

注2: 入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」「電話番号が未入力です」「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

注3: 「外線発信」及び「GW直接発信」用として使用する場合は、「外線発信特番(例:[0])」及び「GW指定特番(例:[9])」を含めて登録します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 操作途中で、約60秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 電話帳として外線発信やGW直接発信として利用する電話番号を登録する場合、外線発信特番及びGW指定特番を含めて登録してください。
- メモリ番号のNo.199は、「ホットライン」機能の発信先として使用されます。その他、サービス起動特番等システム共通の情報が登録されていることがありますので、通信システムの管理者に利用可能なメモリ番号(範囲)を確認してください。
- 電話帳の登録/修正/削除操作の途中で、電源やLANケーブルを抜かないでください。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

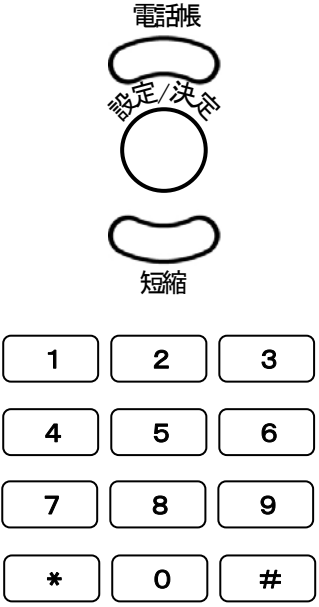
●履歴の内容を電話帳に登録する

	手順1: [発信履歴]または[着信履歴]ボタン押した後、[電話帳]または[短縮]ボタンで目的の履歴を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>01</td> <td>未</td> <td>00312345678</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td></td> <td>本社営業</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>未</td> <td>大阪支社</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td></td> <td>2012</td> </tr> </table>	01	未	00312345678	02		本社営業	03	未	大阪支社	04		2012
01	未	00312345678											
02		本社営業											
03	未	大阪支社											
04		2012											
	手順2: 次に、[メニュー]ボタンを押します。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>電話帳登録</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1件削除</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>全件削除</td> </tr> </table>	1	電話帳登録	2	1件削除	3	全件削除						
1	電話帳登録												
2	1件削除												
3	全件削除												
 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>0</td> <td>#</td> </tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#	手順3: [短縮]または[電話帳]ボタンで「電話帳登録」を選択し、[設定/決定]ボタンを押すと、「名称入力」画面が表示されます。(注1)(注2) 名称入力 ■ [漢] ・ダイヤル[1]ボタンを押しても「名称入力」画面を表示します。 手順4: ダイヤルボタンで名称を入力します。(注3) ・漢字変換などの入力操作は、4.1 ダイヤルボタンで文字を入力するを参照してください。 (ダイヤルでひらがな文字列入力、[短縮]ボタンで漢字候補を選択し、[設定/決定]ボタンで確定) 名称入力 渋谷事務所■ [漢] ・最大で全角8文字(半角16文字)まで登録できます。 手順5: 名称入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「フリガナ入力」画面が表示されます。ダイヤルボタンでフリガナを入力します。(注3) フリガナ入力 シブヤジムシヨ■ [カナ] ・最大で半角カナ15桁まで登録できます。 ・「フリガナ」は電話帳検索用の情報として使用されます。 手順6: フリガナ入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「電話番号入力」画面を表示します。ここでは、そのまま[設定/決定]ボタンを押します。(注3) 電話番号入力 00312345678■
1	2	3											
4	5	6											
7	8	9											
*	0	#											

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

（前ページより）

	手順7: 電話番号入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと、「グループ選択」画面を表示します。ダイヤルボタン([1]～[9])または[短縮]・[電話帳]ボタンと[設定/決定]ボタンを用いて指定します。 <table border="1" data-bbox="699 362 1157 510"><tr><td>グループ選択</td></tr><tr><td>1 グループ1</td></tr><tr><td>2 グループ2</td></tr><tr><td>3 グループ3</td></tr></table> ・「グループ番号」は電話帳検索用の情報として使用されます。 手順8: 次に「メモリ番号入力」画面で、電話帳の登録位置を指定します。ダイヤルで[0][0][0]～[1][9][9]の3桁を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。 ・メモリ番号を入力しないで[設定/決定]ボタンを押すと、空いているメモリを自動的に選択して登録します。(注3) <table border="1" data-bbox="699 721 1157 869"><tr><td>メモリ番号入力</td></tr><tr><td>000～199で指定</td></tr><tr><td>00 0</td></tr></table> ・既に登録されているメモリを指定した場合、「上書き確認」画面が表示されます。 ・メモリ番号＝199は、「ホットライン」発信先として使用されます。	グループ選択	1 グループ1	2 グループ2	3 グループ3	メモリ番号入力	000～199で指定	00 0
グループ選択								
1 グループ1								
2 グループ2								
3 グループ3								
メモリ番号入力								
000～199で指定								
00 0								
	手順9: 登録が完了すると、「登録しました」または「上書きしました」が表示されます。 <table border="1" data-bbox="699 1070 1157 1218"><tr><td>電話帳登録</td></tr><tr><td>No. 000</td></tr><tr><td>登録しました</td></tr></table> ・続けて登録する場合は、[設定/決定]または[電話帳]ボタンを押します。 ・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳]ボタンを約2秒間押します。	電話帳登録	No. 000	登録しました				
電話帳登録								
No. 000								
登録しました								

注1: 電話帳の空きメモリがない場合、「空きがありません」のメッセージが表示されます。

注2: 「非通知」など、電話番号情報が存在しない場合、「登録できません」のメッセージが表示されます。

注3: 入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」・「電話番号が未入力です」・「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

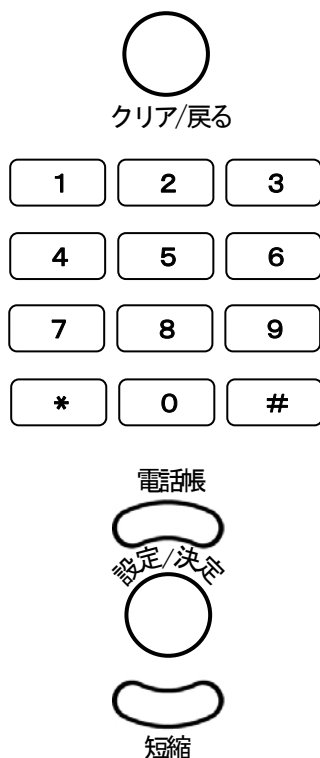
●電話帳の内容を修正する

	手順1: 待機状態から[電話帳]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1) フリガナ検索 ■ [カナ] ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」が表示されます。
 設定/決定 	手順2: ダイヤルで先頭行([ア],[イ],[ウ],[エ],[オ],[カ],[キ],[ク],[ケ],[コ]など)を入力し、[設定/決定]ボタンを押下でリストを表示した後、[電話帳]ボタンまたは[短縮]ボタンで、目的のメモリを選択します。 フリガナ検索 ト [カナ] 十勝出張所 ・表示は一例です。 ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」が表示されます。
	手順3: [メニュー]ボタン押し、「電話帳修正」を選択し[設定/決定]を押します。 1: 電話帳修正 2: 電話帳削除
クリア/戻る  設定/決定 	手順4: 「名称入力」画面が表示されます。必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正完了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。 名称入力 十勝■ えい [漢] 名称入力 十勝営業所■ [漢]

(次ページへ)

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

（前ページより）



手順5:「フリガナ入力」画面で、必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正完了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。

フリガナ入力
トカチエイギョウシ
[カナ]

手順6:「電話番号入力」画面で、必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正終了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。

電話番号入力
7000

手順7:「グループ選択」を変更する場合、ダイヤルボタン([1]～[9])か、[短縮]または[電話帳]と[設定/決定]ボタンを用いて新たなグループを指定します。

グループ選択
1 グループ1
2 グループ2
3 グループ3

手順8: 次に「メモリ番号」入力画面で、[設定/決定]ボタンを押します。
・メモリ番号を変更する場合は、ダイヤルボタンで新たなメモリ番号を入力します。

メモリ番号入力
000～199で指定
064

・メモリ番号＝199は、「ホットライン」発信先として使用されます。

手順9:「上書き確認」画面で「する」を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。

電話帳上書き
0: しない
1: する

手順10: 登録が完了すると、「上書きしました」のメッセージが表示されます。

電話帳上書き
No. 064
上書きしました

・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳]ボタンを約2秒間押します。

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

●電話帳内容を削除する

	手順1: 待機状態から[電話帳]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1) フリガナ検索 ■ [カナ] ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」が表示されます。
	手順2: ダイヤルで先頭行([ア],[イ],[ウ],[エ],[オ],[カ],[キ],[ク],[ケ],[コ]など)を入力し、[設定/決定]ボタン押下でリストを表示した後、[電話帳]ボタンまたは[短縮]ボタンで、目的のメモリを選択します。 フリガナ検索 ■ [カナ] 千葉営業所 ・表示は一例です。 ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」が表示されます。
	手順3: [メニュー]ボタンを押し、「電話帳削除」を選択します。 1 : 電話帳修正 2 : 電話帳削除 手順4: 「電話帳削除」画面で、「削除する」を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。 電話帳削除 0 : 削除しない 1 : 削除する
	手順5: 削除が完了すると「削除しました」のメッセージが表示されます。 電話帳削除 No. 063 削除しました ・[クリア/戻る]ボタンを押すとリスト表示に戻ります。

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱ううえでの注意事項です。

- 操作途中で、約60秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

- 電話帳の登録/修正/削除操作の途中で、電源やLANケーブルを抜かないでください。

4. 付録 (ダイヤルボタンで文字を入力する)

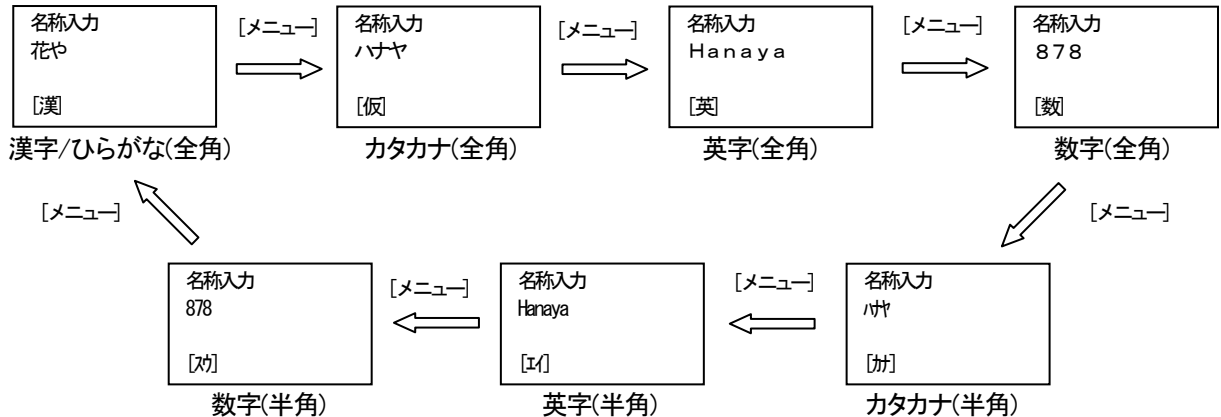
4. 付録

4.1 ダイヤルボタンで文字を入力する

ここでは、データ設定や電話帳の登録操作などにおいて、各種文字を入力する方法について説明します。
(設定項目によっては、入力可能な文字や種別が限定されることがありますので、注意してください。)

●文字種別の切替

[メニュー]ボタンを押すことにより、次のように入力する文字種別が切替ります。



文字種別 ダイヤル	ひらがな [漢]:全角	カタカナ [仮]:全角、[カナ]半角	英字 [英]:全角、[E]:半角	数字 [数]:全角、[ス]:半角
1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ		1
2	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
3	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
4	たちつてと	タチツテト	ghiGHI	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
7	まみむめも	マミムメモ	pqrPQRS	7
8	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
0	わをん° (空白) — 。。	ワヲン ー・、。! ? 「」(空白)	@ : - _ ? ! " # \$ % & ' () * + ; < = > [¥] ^ { } ~ (空白)	0
*	°(濁点) °(半濁点)	°(濁点) °(半濁点)	. /	*
#				#

- ・同じボタンの文字を続けて入力する場合は、[発信履歴]ボタンを押下し、入力位置を移動します。
- ・ひらがな[漢]モードでは、[短縮]または[電話帳]ボタンで入力文字の漢字の変換候補を表示します。[設定/決定]ボタンを押下し、確定します。
- ・半角カタカナ[カナ]モードでは、°(濁点)や°(半濁点)も1桁分として入力されます。
- ・入力文字を訂正、消去する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。
(短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。)